

豊崎東 五版

豊崎東会館の行方 進捗報告



新たな豊崎東会館 設置に向けて

地域の活動拠点であり、コミュニティの拠点である豊崎東会館。大阪市はこれまで豊崎東会館を取り壊し、底地を売却するとの方針で検討が進められてきました。しかし、豊崎東会館がなくなれば、福祉的活動や地域活動の拠点を失うことになりかねません。こうした地域の皆様の声を受け、その動きに「待った」をかけて、これまで議会で活動を続けて参りました。

豊崎東会館及び隣接する大淀寮は、大正15年に建築された施設であり、老朽化が進行しているため修繕費用が年を追うごとに増加し、地域が負担する維持管理費用に多くの費用を捻出している状況がありました。このため、現状の建物を大規模修繕するだけでは、十年程度の建物の存続しかできず、維持管理費用も高額なままであり、将来にわたる地域の負担を軽減する必要があります。



から、大阪市と施設整備の予算の折衝を重ね、地域の様々な皆様のご意見をいただき、新たな地域集会所として豊崎東会館を設置するという選択肢を導きました。



自民党 大阪市議員 (北区選出)

前田かずひこ



公式HPはこちらから

立地が変わらぬ
ように調整

この調整を行う上で重要だったのが、立地でした。新たに豊崎東会館を設置する場合も、地域活動の拠点として慣れ親しんだ現在の場所から大きく変更されないように調整を行う必要があったのです。

現在、新豊崎東会館の設置場所についても、大阪市と協議を重ね、隣接する大淀寮の場所に設置する方向で現在調整しています。

直近の議会での質疑

前田

豊崎東会館及び大淀寮の跡地の活用として、今後の地域活動の拠点として新たな地域集会所の設置に向けて、方針が固まったことは大きな前進だと思う。新たな地域集会所を設置するにあたっては、大阪市による建替補助金(100%補助金、上限4900万円)を活用できることから、必要な手続き等に関して今後にも区役所でサポートを願いたい。

また、豊崎東地域では近年高層マンションも建設されているが、長年地域活動を支えてこられた地域の皆さんをはじめ、地域福祉活動を担ってきた皆さんも、新たな住民との交流やつながりを通じて、将来に向けた地域活動が継続されることが期待されている。地域集会所施設は、多様な住民が集い地域コミュニティや地域福祉活動の拠点となることから、地元の期待感や機運の高まりを維持しつつ今後は新たな担い手を呼びこむような仕掛けも必要だと思っている。今後の新たな地域集会所の設置に向けて、豊崎東地域の地域課題を踏まえ、区役所として地域のつながりづくりをどのように進めていくのか教えてほしい。

(裏面につづく)



(表面のつづき)

北区役所

委員)指摘のとおり、北区では高層マンションが増える中、マンション内のコミュニティづくりはもとより、災害時の自主防災活動、高齢者や子どもの見守り活動などを通して地域の皆様とマンション居住者との交流機会を増やしていくことは、豊崎東地域に限らず北区全体においても喫緊の課題です。

北区では、区内の企業や大学・専門学校等との事業連携を進めており、その一環で令和4年度は大阪工業大学と連携し、都市部における地域集会所施設のあり方に関する検討を進めます。

具体的には、新たな地域集会所の設置の検討に向けて、多様化する地域課題を踏まえ、地域住民と建築学科の学生が意見交換し、地域住民とマンション居住者の交流の場となり幅広い世代のつながりを生み出す、これからの都市部に相応しい地域集会所施設のデザイン提案を受ける計画としている。

また、このような地域の将来像を思い描く活動について、多様な人々が関心を持ち積極的に参画していただけるよう広く周知するとともに周辺のマンション居住者にも働きかけて参ります。

(略) いずれにしても、もと大淀寮等の跡地活用に関しては、戦後の混乱期から地域と共に福祉的なつながりを支えてきた場所であるという歴史に鑑み、将来にわたってもここを拠点に新たなつながりが創出される場づくりをめざして、北区役所としてもしっかりと地域を支援していきます。



今後の動向について

今後、新豊崎東会館(地域集会所)の設置に向けた設計等のための予算を議会で確保し、地域の皆様のご意見も踏まえながら、地域のコミュニティの醸成に向けて、素晴らしい活動拠点となるよう、取り組んで参ります。

これから、進捗があるごとに報告させていただきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ致します。



豊崎東会館とは

大正十五年、女性の職業訓練を行う場として設置されたのが、今の豊崎東会館のはじまり。『大正時代』と呼ばれる都市化の中で浮かび上がった、貧困対策の一端を担ってきた。

現在は、地域の集会所や高齢者、不登校児童らを支援するボランティア活動の拠点になっているが、耐震基準を満たしていないことから、大阪市の方針として、取り壊しの上、民間への売却が検討されたが、地域にとって重要な拠点であることから、何とか存続させるよう、働きかけてきた。

発行者情報



自由民主党 大阪市議員 前田かずひこ



民生保健委員会 会派代表
 自民党大阪市議員団 副幹事長
 自民党大阪府連青年局 局長代理

〒531-0041 大阪市北区天神橋七丁目5番8号

前田かずひこ市政事務所
 maedaoffices@gmail.com

